






事業紹介

打揚煙火の製造・販売からスタートした当社は、その後100年以上にわたって、その時代の高エネルギー物質を扱い、火工品を始め社会に貢献する製品を提供しております。

事業内容	
火工品の製造・販売 	発煙・照明などの信号用火工品を始め、各種インフレータ等火薬・爆薬を利用した製品を製造・販売しております。
火薬類の燃焼処分 	当社の保有する施設を利用し、不用になった火薬類や火工品の種類に応じて、適切かつ安全に燃焼処分を実施しております。
安全性評価試験 	燃焼試験場や水中爆発試験池等の施設の他、各種分析装置を保有しており、高エネルギー物質の安全性評価試験やデータ計測等、様々なご依頼に対応しております。
液体化成品の製造・販売 	使用済核燃料再処理剤や人工衛星の推進薬を製造・販売しております。新たな高エネルギー物質として研究・開発も継続しております。
土地・建物の賃貸 	東京ドーム約6.5個分の所有地の一部を、商業施設、試験施設及び火薬庫等に賃貸しております。

火工品事業

賃貸事業

会社概要

(令和5年3月31日現在)

社名	細谷火工株式会社
英文社名	HOSOYA PYRO-ENGINEERING CO., LTD.
本社所在地	東京都あきる野市菅生1847番地
創業年月日	明治39年(1906年)6月7日
設立年月日	昭和26年(1951年)5月28日
公開年月日	昭和38年(1963年)6月19日
資本金	201百万円
工場	本社・工場(菅生工場)、草花工場
営業所	東京都新宿区須賀町1番地 大和屋ビル2階
従業員数	96名(臨時社員を含む)

株式の状況

(令和5年3月31日現在)

発行可能株式総数	8,064,000株
発行済株式総数	4,032,000株
株主数	3,351名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	3月31日
株主名簿管理人	株式会社アイ・アール ジャパン
同連絡先 (郵便物送付先及びお問い合わせ先)	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 電話 0120-975-960(通話料無料)
公告方法	官報

ホームページのご案内

当社webサイトでは、様々な情報を公開しております。是非ご覧下さい。

細谷火工

検索

<http://www.hosoya-pyro.co.jp/>



第72期

株主通信

令和4年(2022年)4月1日-
令和5年(2023年)3月31日

 細谷火工株式会社
HOSOYA PYRO-ENGINEERING CO., LTD.



本社敷地にて

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第72期事業年度（令和4年4月～令和5年3月）は、ウクライナ情勢の長期化や欧米各国の金融不安を背景としたサプライチェーンの混乱や、原材料コストの高騰など厳しい事業環境が継続しました。このような環境のもと、当社は原材料の調達難に対し先行的に対策を講じ、安定的な供給を維持すると共に、生産プロセスを改善し収益性の確保に取り組んでまいりました。しかし、主力の防衛省向け製品の大幅な受注減があったうえ、前事業年度に契約済みの製品においては材料費高騰と労務費上昇分が吸収できず、売上高は1,761百万円（前期比1.8%減）、営業利益177百万円（同2.0%減）、経常利益183百万円（同1.7%減）、当期純利益132百万円（同4.5%増）となりました。

第72期は、私が社長に就任して10年目の事業年度でした。就任以来、社是と経営理念にうたう「国家社会に奉仕」する企業として「高エネルギー物質利用で広く社会に貢献」することを目指し、様々な改革を行ってまいりました。全ての部門において業務改善の意識を高め、効率的な仕組みの構築、検証、改善を繰り返すことで、収益力は確実に向上いたしました。そして、その成果により得られた利益を、事業の源である従業員の労働環境向上に投資し、経営理念とする「従業員の物心両面の充実を追求」してまいりました。その結果、事業基盤は強固になったものと自負しており、10年の節目となる第72期事業年度の期末配当は、特別に3円を加え1株当たり10円とさせていただきます。

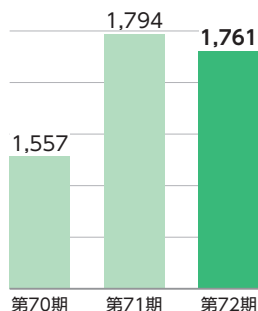
今後も、この成果に満足することなく、次の100年に向け社会に貢献し持続的に成長する企業となるべく、目指す将来像に向け全社員一丸となって改革と挑戦を続ける所存です。

株主の皆様には、当社の良き理解者として、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

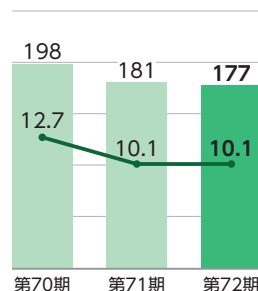
代表取締役社長 **細谷 穰志**

財務ハイライト

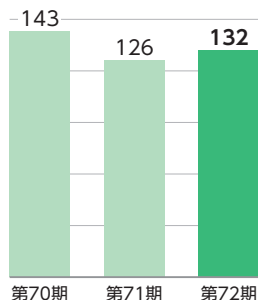
売上高 (百万円)



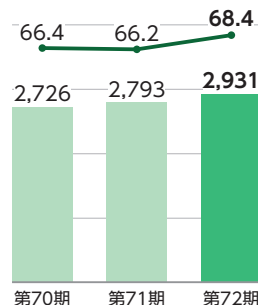
営業利益 (百万円) 売上高営業利益率 (%)



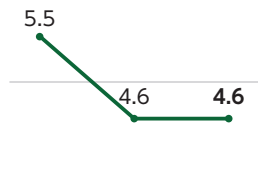
当期純利益 (百万円)



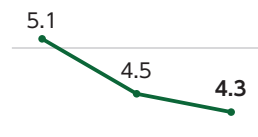
純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



自己資本 当期純利益率 (%)



総資産 経常利益率 (%)



セグメント情報

火工品事業

売上高

15億8,243万円 ↓
(前期比 2.6%減)

営業利益

9,328万円 ↓
(前期比 11.0%減)

民間向けの製品売上及び高エネルギー物質の評価試験並びに燃焼処分の受託がそれぞれ増加したものの、主力の防衛省向け製品の受注減少が補えず、前期と比べ減収となりました。損益面では、労働環境向上への投資として、環境整備費及び人件費が増加したことで前期と比べ減益となりました。

賃貸事業

売上高

1億7,880万円 ↑
(前期比 5.4%増)

営業利益

1億2,525万円 ↑
(前期比 3.6%増)

火薬庫の短期契約などで賃貸収入は増加いたしました。賃貸している商業店舗の整備や新規契約に伴う施設整備などで支出も増加いたしました。前期と比べ増益となりました。立地条件の良い火薬庫として高まる需要に対応し、今後も長期的に設備投資を行う予定です。

※ セグメントの業績は各事業に帰属しない一般管理費を除いております。